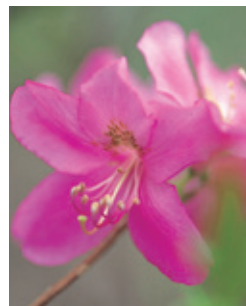




人と自然が育む美しい村



村の木：シラカバ



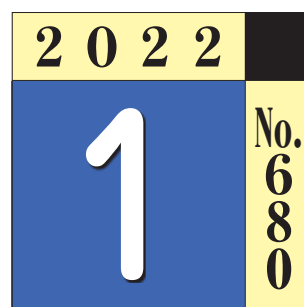
村の花：ムラサキヤシオ

～やすらぎと潤いのふるさとをめざして～



昔の若人おしゃべりサロン／2021年12月10日

- 02 年頭あいさつ 赤井川村長・北海道知事・後志総合振興局長
- 06 令和2年度決算報告
- 08 トピックス 赤井川村除雪説明会・赤井川中学校1日防災学校 ほか
- 10 スポーツニュース 各種大会の結果・チャレンジスキー教室Ⅰ・Ⅱの開催 ほか
- 11 むらの事件簿 瀬野尾斉氏が瑞宝単光章受章・年末年始の火の取扱い ほか
- 12 健康支援センターだより 新型コロナウイルスワクチン3回目接種・冬にも水分補給をしましょう ほか
- 14 お知らせ伝言板 原油価格高騰対策支援助成金・安達正樹氏に北海道社会貢献賞 ほか
- 22 赤井川村2021年10大ニュース・編集後記



年頭あいさつ

赤井川村長



馬場 希

■村の事業と展望

さて、昨年を振り返りますと新型コロナウイルスの感染対策を取りながらも様々な活動が少しずつ動き出せたのは、余市モデルとして北後志5町村が連携して取り組んだワクチン接種事業の効果が大きかったと感じています。今後の行政運営においても広域で連携して取り組むことが効果的と思われる事業については積極的に取り組むたいと思いを強くしたところです。

また、新型コロナウイルス感染症対策として各種支援事業の実施や感染対策を伴う施設整備を国の地方創生臨時交付金を活用できたことは、村財政の円滑化にも繋がったと考えています。この後3回目のワクチン接種を遅くとも2月上旬には開始したいと準備を進めていますので、特に2回目接種が終了している方については積極的な接種をお願いすると共に、国・道の支援事業はもとより、現在お知らせしている村が実施する支援事業についても有効に活用して生活や事業の安定化への一助にしていきたいと思います。

主要産業の農業については高温少雨という厳しい気象条件が続く生産環境ではありましたが、生産者の皆様の努力と高い生産技術、畑地におけるかんがい施設の活用効果も手伝い、馬鈴薯以外は極端に大きな打撃を受けずに済んだと伺っており安堵したところです。



地域農業の今後の振興発展のために農業委員会では視察を行っています。

年頭にあたり、令和4年を村民の皆様と共に迎えられることを大変うれしく思うと共に、常日頃より村政運営全般に渡り、深いご理解とご協力をいただいておりますことに對し改めて感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対応も3年目に入り、国内外を問わずまだまだ先行きの不透明感はあるものの、国内経済活動の低迷を受け厳しい一面はあるものの、日常生活に混乱を招くような状況には至っておらず、国内の情勢としては令和4年度内に一定の落ち着きが見えることを願うばかりです。



65歳以上の新型コロナワクチンの接種が5月17日より赤井川診療所で始まり、3回目接種については、準備が整い次第広報あかいがわなどでお知らせします。



エネルギービジョンを策定し、再生可能エネルギーの積極的な利活用に取り組めます。



謹賀新年
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

村長 馬場 希
副村長 大石 和朗
会計管理者
総務課 職員一同
保健福祉課 職員一同
介護保険課 職員一同
産業課 職員一同
建設課 職員一同
出納課 職員一同

村議会
議長 岩井 英明
副議長 山口 芳之
総務開発常任委員長 川人 孝則
議会運営委員長 能登 ゆう
議員 湯澤 幸敏
辻 敏康
曾根 敏明
連 茂
外職員一同

農業委員会
会長 阿部 隆治
会長代理 永沼 隼人
委員 石川 拓也
関野 拓也
山口 和之
佐々木 善彦
中山 善彦
原口多喜子

もうひとつの主要産業である観光分野については、旅行による移動制限や外国人観光客の入国制限が大きく影響し、全村的な流入人口の減少が事業者等には厳しい1年となりました。このため当面は国内の観光需要の掘り起こしによる流入人口の増加対策が課題であり、赤井川DMOのプロジェクトによる村内資源の積極的活用を期待しています。

また、昨年11月に観光の主力であるキロロリゾートの経営母体が替わるとのニュースが入ってきましたが、新たな経営体とは村も今まで同様に良好な関係を築きたいと考えており、新たなリゾートエリア整備の投資にも期待をしているところです。



外国からの渡航制限が続く中、国内の観光客を込むため、赤井川DMOによる観光資源の積極的な活用を期待しております。



生活関連では、4月から本運行する村バス（地域公共交通）の実証運行を経験できましたので、実証結果を参考に本運行に向けた準備を加速させています。福祉介護分野においてはデイサービスセンター等の指定管理事業者を村議会に承認していただきましたので、こちらも4月からの指定管理運営に向けて移行準備に万全を期してまいります。



地域公共交通活性化協議会を開催して、本年4月から運行するバスが地域の皆様にとってより便利なものになるよう協議を重ねています。



デイサービスセンターは、4月からの指定管理運営に向け移行準備に万全を期します。

■新年に向けて

4月を迎えると私の村長としての任期も残り一年となります。この後2月上旬まで懸案である財政の安定化を念頭に、令和4年度予算編成に取り組みこととなりますが、新たな取り組みとしては道営による農業基盤整備事業、温泉熱の利活用を目指した新たな温泉井戸の掘削をはじめ、計画的に進めている道路、上下水道、河川等の公共インフラの維持改修等を予算化させると共に、コロナ後の様々なイベントや行事の在り方なども方向性を出しながら、移住定住、子育て支援については引き続き重点事項として取り組む所存です。結びとなりますが、令和4年が村民の皆様にとって幸多き年となることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

教育委員会

教育長
教育長代理
委員

根井 朗夫
野田 満
小林 美香
桐木 眞英
外職員一同

選挙管理委員会

委員長
委員長代理
委員

大山 政紀
佐々木 優
二川 英司
中井 郁子

監査委員

大西 敏典
湯澤 幸敏

固定資産評価審査委員会

委員長
委員長代理
委員

二川 健司
青木 清次
多田 幸夫

北後志消防組合赤井川支署
団長 吉川 幸男
副団長 野田 満
外職員一同

知事年頭所感

北海道知事 鈴木 直道

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続く中、感染拡大地域における外出自粛や飲食店等の営業時間短縮など様々な制限を余儀なくされ、社会経済活動に大きな影響が及びました。

この間、私としては、何よりも道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、国や市町村などと連携し、感染症への対応に最善を尽くしてまいりました。道民の皆様、事業者の方々には、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

感染症との闘いが続く中にあることも、昨年は本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。7月には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、8月には、札幌で開催された東京オリンピックの

マラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が披露され、世界に発信されるなど、本道固有の歴史や文化への関心が高まりました。また9月には、バーチャルでの開催ながらアジア初となったアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021を通じて、北海道の自然・異文化体験・アクティビティの魅力が世界に紹介され、2023年のリアル開催内定にもつながりました。そして10月には、苫小牧市などにおいて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインによる御臨席を賜り全国育樹祭が開催され、本道発祥の「木育」の輪を全国に広げる好機となったところで、

また、大規模な物産展の開催が難しい中で首都圏スーパードットにおける北海道フェアの成功や、「どさんこプラザ」の羽田空港と大阪あべのハルカスへの新規出店は、発想の転換によりピンチをチャンスに変え、本道の食の魅力を最大限活かす、新たな需要獲得につながる取組となりました。本年においても、新たな

変異株への警戒を最大限に高めながら、感染拡大を抑え、再拡大への備えに万全を期すとともに、社会経済活動との両立に取り組みでまいります。医療・療養体制については、全道で2,028床の最大確保病床数を確保しているほか、それを超える事態も想定し、新たに2,214床の緊急フーズを設けるとともに、三次医療圏すべてで宿泊療養施設を運用してまいります。また、社会経済活動の回復に向けて、ワクチン接種を円滑に進めるとともに、どうみん割をはじめとする各種需要喚起策を通じて、感染防止行動を実践しながら日常生活を取り戻していく取組を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、本道の揺るぎない価値を一層磨き上げながら、コロナ禍に伴う人々の考え方や行動の変化を背景に、積雪寒冷の気候や広域分散型の地域構造など、これまで本道にとってハンデとしてきた特性を新たな強みとして確立するとともに、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた「攻め」の視

点を持つて果敢に挑戦してまいります。特に、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けては、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした道内各地域の脱炭素化の取組を支援するとともに、道自身も公用車の次世代自動車化等により2030年までの50%削減に取り組むなど、オール北海道で目指す姿を共有します。

また、ICTやAIなどの技術を活用した未来社会「北海道Society5.0」の実現に向けては、道民の皆様との視点に立った行政サービスのデジタル化や遠隔医療・遠隔教育、スマート農林水産業など地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速します。

こうした将来の成長につながる政策の種をまき、道民の皆様とともに育て、これからも本道が持続的に発展していけるよう全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、新たな希望と飛躍に向けたスタートラインとなりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭所感

後志総合振興局長

天沼 宇雄

新年、明けましておめでとうございます。皆様には平素から道政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数は予断を許さない状況が続く、後志管内においても外出自粛や飲食店の営業時間短縮などにより、様々な分野に大きな影響が生じました。

振興局としては、感染拡大防止に全力で取り組んできたところであり、この間、地域の皆様にも、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

また、ワクチン接種については、当初、一部の自治体でワクチンの供給が不足する状況が見られたものの、管内市町村間でワクチンの融通を進めていただき、希望する方への接種は11月中旬に概ね完了し、昨年12月からは、3回目の接種が開始されました。希望する全ての方が円滑に接種できるよう、引き続き地域一丸とな

って取り組んでまいります。各産業分野に目を向けますと、観光産業においては、管内のほとんどのイベントや諸行事が中止や縮小・延期となったほか、外国人の入国制限により、当面はインバウンドが見込めない厳しい状況が続いています。そのような中でも、コロナ収束後における観光需要の回復や、さらにその先の北海道新幹線や高規格道路の延伸などのインフラ整備を見据え、高級ホテルや酒造関連などの投資も継続しています。

振興局としても、さらに多くの皆様に管内に来ていただけるよう、地域交通の維持・確保はもとより、新たな交通網を活かした地域交通ネットワークの構築に向け、引き続き取り組んでまいります。また、昨年、本道でワールドサミットがオンライン開催されるなど、注目が高まっているアドベンチャーツーリズムをさらに盛り上げていくため、道外プロモーションや動画を使ったPR、マウンテンバイクのセミナーや初心者体験会を実施したほか、後志の食材のリゾートホテルなどへの販路拡大を目指した商談会も開催しました。今後とも、

アフターコロナを見据えた食と観光の取り組みを行うてまいります。

雇用分野の取組としては、夏季の農業などの人材確保ニーズへの対応として、マッチングによる通年雇用化に向けた取組を継続するとともに、後志ならではの国際的な環境を活かし、若者を対象とした外資系リゾートホテル等でインターンシップを行う「Shiribeshi留学」などを通じて、グローバル・シチズンシップの育成を図り、多様な人材を地域に呼び込む取組を引き続き進めてまいります。

管内の基幹産業の一つである農業では、水稲の作況は「良」となった一方、6・7月と続いた記録的な高温・少雨により、一部の地域ではジャガイモなどの品目で収量の減少が見られたところではあります。

管内では、新規就農者によるワイナリー開設や、薬用植物の食用化に向けた取り組みが始動しており、振興局としてもICTを活用したスマート農業の普及に向け、推進会議を開催するなどし、農家人口の減少や労働力の確保に対応するための新たな取り組みを行っています。

今後とも、後志の農業の持続的発展のため、地域の皆様と一体となって取り組んでまいります。

水産業では、スルメイカ、イカナゴの漁獲が落ち込む一方で、スケトウダラ、ブリの漁獲が大きく増加し、サケやナマコは魚価が上昇するなど、漁獲金額の総額は、前年を上回る状況となっています。

振興局では、管内の漁港での魚類養殖試験の開始に先立ち、漁港内のしゅんせつを行うとともに、生けす導入等の施設整備に係る経費補助を行ったほか、ニシンの加工利用の拡大に向けた成分分析にも着手したところではあります。

今後とも国が掲げる「水産資源の適切な管理」と「水産業の成長産業化」の両立により、浜で頑張る漁業者の皆様が将来にわたって安心して漁業を営むことができるよう、日本海漁業の振興に、継続して取り組んでまいります。

林業では、林業人材の将来における安定的な確保につながるため、北の森づくり専門学院の学院生の地域見学実習や短期就業体験研修の受入れ、後志の魅力を伝えるPRイベントを引き続き実施したほか、新たに

長期就業体験研修の受入れを開始しました。

また、管内のリゾート地域における地域材を利用する動きを後押しするため、リゾート関係者向けの地域材利用施設見学バスツアーを開催しました。

本年もこれらの取組を継続して行い、地域の皆様との連携を図りながら、林業の担い手の確保・育成及び地域材利用促進の取組を進めてまいります。

近年、日本各地においては、台風や集中豪雨などによる大規模な災害が頻発しております。幸いなことに後志管内では、ここ数年は人的被害に及ぶような自然災害は発生していませんが、万が一に備え、日頃からしっかりと防災意識を持つことが重要です。このため、効果的な防災訓練の実施により防災意識の向上を図るなど、今後とも地域住民の皆様、関係機関と連携し、安全、安心に暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

また、地球温暖化が急速に進行する中、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、地域の実情に合わせた取組を進めるため、振興局

内に「後志地域ゼロカーボン推進室」を新たに設置し、ゼロカーボン対策に向け開始したところです。

今後、後志のすばらしい自然、豊富な地域資源など、後志が全道に誇れる優位性を活かしながら、地域一丸となって持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。

私としては、特色ある一次産品や国際リゾートエリアを有する後志ならではの特性を活かし、地域の皆様との連携を一層深めながら、世界中の人々を魅了する後志を目指し、活力ある地域づくりに取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって、希望に満ちた素晴らしい一年となることを心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

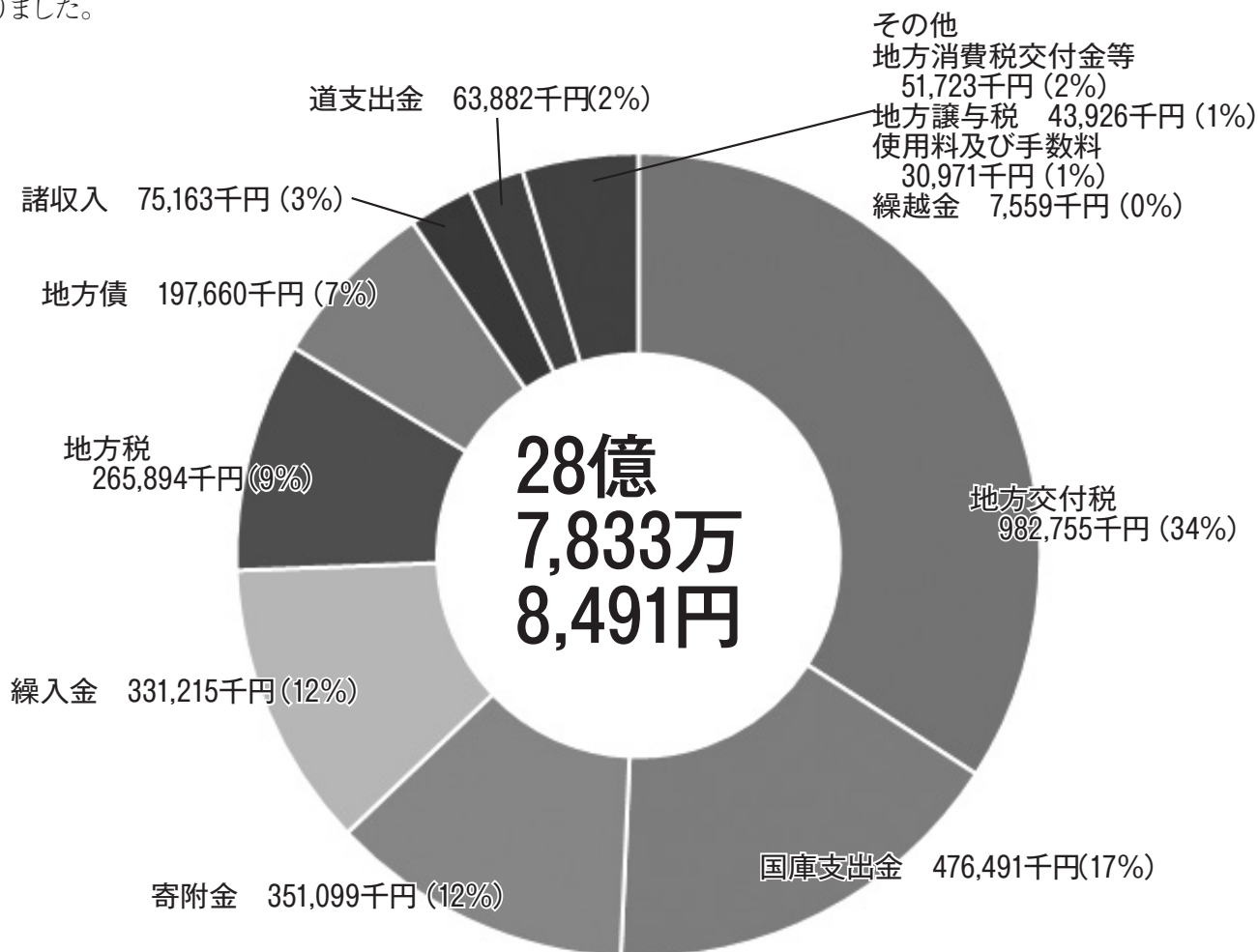
令和2年度 決算報告

一般会計の歳入決算総額は28億7,833万8,491円で、令和元年度決算に比べ31.62%増、歳出決算総額27億8,902万5,912円で、令和元年度決算に比べ27.97%増となっています。歳入歳出ともに、新型コロナウイルス感染症対応事業等に伴う増が要因です。

【一般会計歳入】

■歳入(収入)の構成

村民税・固定資産税などの地方税が265,894千円(収入全体の9%)、一定の住民サービスを確保するため人口や税収に応じて国から交付される地方交付税が982,755千円(収入全体の34%)であり、収入全体の43%を占めます。また、村が行う事業に対する国・道からの補助金などの国庫・道支出金が540,373千円(収入全体の19%)、ふるさと納税などで村に寄附いただいた寄附金351,099千円(収入全体の12%)になり、収入総額は2,878,338千円となりました。



【特別会計】

特定の事業を行うために一般会計と区分する必要がある場合に設けられる会計です。

区 分	歳 入	歳 出
介護保険サービス事業特別会計	42,379千円	42,378千円
国民健康保険事業特別会計	59,618千円	59,618千円
後期高齢者医療特別会計	20,379千円	20,378千円
簡易水道事業特別会計	85,876千円	85,875千円
下水道事業特別会計	83,470千円	83,469千円

■主な事業の様子



全村民マスク配布事業
1,997千円

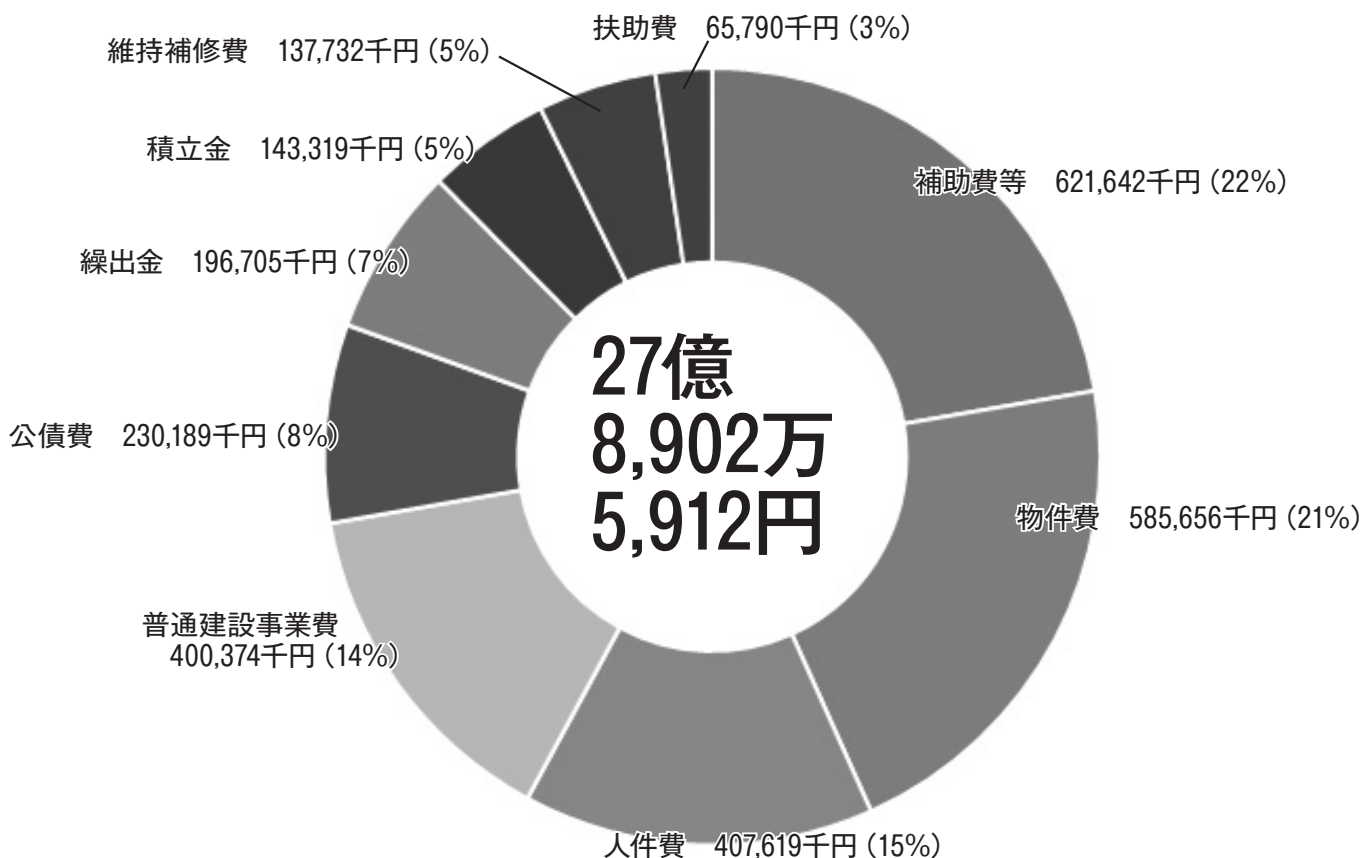


健康支援センター緊急発電設備設置工事
39,930千円

【一般会計歳出】

■歳出（支出）の構成

村の事業運営に必要な物品の購入やシステム管理費用、通信費や公共施設の運営など物件費が585,656千円(支出全体の21%)、農業振興施策をはじめとする様々な団体等への補助金や負担金など補助費等が621,642千円(支出全体の22%)、給与や報酬など人件費が407,619千円(支出全体の15%)、道路・橋りょうなどの整備にかかる普通建設事業費が400,374千円(支出全体の14%)となり、支出総額は2,789,026千円となりました。



■令和2年度の決算報告から見える『赤井川村の財政状況』

村民1人当たりにおいて、村税額や地方交付税などの使えるお金(収入)は235万5千円であり、使われたお金(支出)は228万2千円です。

収支の均衡が保たれているようにみえますが、基金(一般家庭でいう預金)を1億9,270万円崩し、財政運営を行いました。

※住民1人当たりのお金は、令和2年4月1日現在の人口1,222人で割り返し、千円未満四捨五入により算出しています。

トピックス

赤井川村除雪説明会

2021.11.15 赤井川村役場

11月15日(月)、赤井川村役場において今年度の国道、道道及び村道の除雪計画について説明を行いました。説明後の質疑応答では各区会長より、これから本格的に始まる除雪事業に対して各道路管理者へ様々な要望が出されました。

今後とも住民の皆さまにご協力をいただきたいと考えておりますのでお願いいたします。

※決定した除雪計画については、「お知らせ伝言板」に掲載しております。



赤井川中学校1日防災学校

2021.11.24 赤井川中学校

11月24日(水)、赤井川中学校で「1日防災学校」が実施されました。今年は避難所の運営をゲーム形式で疑似体験する「Doハグ」を行いました。「Doハグ」とは、各グループ5人程度に分かれて、カードに書かれた内容に対してどのように対応するか話し合っていくというものです。避難所に来る様々な事情を持った避難者に対してどのような対応をすべきか、グループ内で意見を出しながら適切な対応を考えました。

生徒からは「普段学べないことを学べた」など、防災意識を高められた「1日防災学校」となりました。

村内ソフトバレーボール大会

2021.11.24 村体育館

11月24日(水)、村体育館で村内ソフトバレーボール大会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の観点から中止しておりましたが、感染症対策を行い、6チームの参加により開催することができました。各試合で熱戦が繰り広げられ、珍プレーや好プレーがたくさん見られました。結果は「楽しみ隊」が見事優勝しました。おめでとうございます。

この大会は勝つことももちろんですが、日ごろの運動不足解消や、交流を目的として実施しています。参加された皆さんは和気あいあいと交流していました。来年も多くの参加をお待ちしております。

大会の結果については、スポーツニュースに掲載しています。



都小学校1日防災学校

2021.11.26 都小学校

11月26日(金)、都小学校で1日防災学校が実施されました。前半は防災グッズの紹介や災害時における適切な行動をクイズ形式で学習し、全校児童が災害時の行動について真剣に考えてくれました。後半は1・2年生、3・4年生、5・6年生と2学年ごとに分かれてそれぞれ災害に備えた授業を受けました。

1・2年生は防災カルタを利用して、災害時の適切な行動を学びました。先生の投げかけに対しても自分の考えをしっかりと発表しており、低学年とは思えない頼もしさが見られました。

3・4年生は複数ある選択肢から災害時に必要なグッズを選び、みんなで発表し合いました。コロナ禍であることも考慮したグッズ選びなど見事でした。

5・6年生はAEDを使った救助活動を体験しました。消防隊員の指導のもと、みんな迅速な対応ができていました。貴重な救助体験にご協力いただきました、赤井川消防隊員の皆さま、ありがとうございました。

全校児童が真剣に取り組んでくれたおかげで、防災意識を高められた素晴らしい「1日防災学校」となりました。



地域おこし協力隊員着任

2021.12.1 赤井川村役場

令和3年12月1日付けで、ふるさと納税と地域情報発信を担当する地域おこし協力隊員が着任しましたので紹介いたします。

〈自己紹介〉

初めまして。この度、赤井川村地域おこし協力隊員として12月に着任しました阿比留 風(あびる なぎ)と申します。

初めて北海道に来て、そして生活することになったのですが、赤井川村に来た次の日の朝は大雪が降っていました。何もかもが真っ白に覆われた雪景色はとても綺麗でした。

まだ、知らないことだらけなので、これから赤井川村をはじめ様々な地域の魅力を発見して経験していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



学校ブックフェスティバル

2021.12.3 村体育館

12月3日(金)、村体育館にて学校ブックフェスティバルを実施しました。

ブックボランティアによる本の読み聞かせや、図書の貸し出しを行いました。自分の借りた本を友達に紹介したり、おはなしめいろコーナーやしかけえほんコーナーで楽しんだり、良い盛り上がりでした。最後に各学校から2名ずつブックフェスティバルの感想を発表してもらいました。「楽しかった」「来年もぜひやってほしい」などうれしい感想がありました。

お手伝いいただいたブックボランティアの皆さまや先生方のおかげでイベントを実施することができました。本当にありがとうございました。来年度のブックフェスティバルも楽しみにしてください。



スポーツ ニュース

各種大会の結果

第49回後志少年少女卓球大会
中学新人卓球大会

とき 11月3日

ところ 蘭越町総合体育館

成績

【男子シングルス】

▽3位 栗谷 絆

後志新人バドミントン大会

とき 11月7日

ところ 倶知安町総合体育館

成績

【女子シングルス】

▽ベスト8 木田 虹歌

▽ベスト16 藤田 雪穂

村内ソフトバレーボール大会

とき 11月24日

ところ 村体育館

成績

▽優勝 楽しみ隊(福田家)

▽2位 赤井川中学校

▽3位 ピクア(中央牧場)

▽4位 星のヨッシー(役場)

▽5位 星のカービィ(役場)

▽6位 トビックス(中央牧場)

チャレンジスキー教室 Ⅰ・Ⅱの開催

チャレンジスキー教室Ⅰ
受講締め切り間近!

■期日

1月22日(土)・23日(日)
の計2回

■時間

午前9時30分～午後3時30分
(集合時間は9時10分)

■場所

キロロスキー場

■講師

全日本スキー連盟公認指
導員等

■受講料

無料(昼食代、リフト券
は自己負担)

■対象

村内在住で、スキーを付
けて歩ける小学生以上

■申込期日

1月12日(水)まで

チャレンジスキー教室Ⅱ ご案内

■期日

2月26日(土)・27日(日)
の計2回

※期日、時間、場所、講師
受講料、対象については

チャレンジスキー教室Ⅰ
と同様です。

■申込み・お問い合わせ

赤井川村教育委員会

TEL 34-6211

■その他

※万が一負傷した場合は、
教育委員会が加入してい
る保険の範囲内で対応し
ます。

※級別テストの受講を希望
する方は講師にご相談く
ださい。

※新型コロナウイルス感染
症の影響による中止も考
えられますので、ご承知
おきください。

村体育館トレー ニング器具入れ替え

11月26日(金)、村体育
館トレーニング室に新た
にトレーニング器具を追
加しました。今回追加した
器具は、「トレーニングバ
イク2台」、「懸垂器(けん
すいき)」、「マルチラックベ
ンチ」、「ダンベル」のほ
かに「血圧計」及び「体重計」
です。ぜひ健康増進にご活
用ください。



スマホでe-Tax!

マイナンバーカードとマ
イナンバーカード対応のス
マートフォンをお持ちの方
や、事前に税務署で専用の
ID・パスワードを取得
している方は、是非、スマ
ートフォンでのe-Tax
(電子申告)をご利用くだ
さい。

新型コロナウイルス感染
症防止の観点から、多くの
方が訪れる確定申告会場で
はなく、ご自宅等で申告書
の作成・提出をお願いしま
す。

なお、本年は確定申告会
場の混雑緩和のため、会場
への入場には「入場整理券」
が必要となります。入場整
理券は、確定申告会場で当
日配付もしくは国税庁LI
NE公式アカウントでの事
前発行となります。

申告書の作成や入場整理
券の配付方法などの詳細は、
国税庁ホームページをご覧
ください。

◇詳しくは、こちらへア
クセスしてください。



■お問い合わせ

余市税務署

TEL 22-2093

成人風疹抗体検査を受けましょう

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性の方は、風疹の定期予防接種の対象者として追加されました(平成31年2月予防接種法施行令改正)。

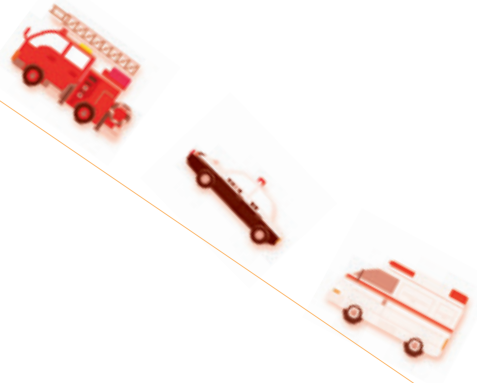
まずは、ご自身が風疹の抗体を持っているかどうかの検査が必要です。

令和4年2月28日までの間に限り対象者の方へは、無料で検査と予防接種が受けられるクーポン券を発行しており、全国の医療機関で受検いただけます。(職場の健診で受検可能かについては勤務先にご確認ください。)令和2年度に発行したクーポン券の有効期限は令和3年3月31日と記載していますが、有効期限が延長され令和4年2月28日まで使用可能です。

紛失された方は再発行が可能です。また、他市町村から転入された方はお持ちのクーポン券は使用できません。改めて発行しますので、下記までご連絡ください。

お問い合わせ: 健康支援センター内 保健福祉課保健福祉係 TEL 35-2050

の ら む 簿 件 事



瀬野尾斉氏が 瑞宝単光章受章

赤井川消防団員としてご活躍いただいた瀬野尾斉さん（70歳／字日ノ出）が、令和3年秋の叙勲・瑞宝単光章を受章され12月13日に赤井川村役場で伝達式が行われました。

瀬野尾さんは昭和48年に赤井川消防団に入団。平成26年からは副分団長に就任され、42年の永きに亘り、消防団活動に誠心誠意取り組み地域防災に尽力していただきました。

今後とも健康に留意され、益々のご多幸を御祈念申し上げます。この度は誠にありがとうございます。



年末年始の火の取扱い

■家庭では

○外出時や寝る前には必ず火の元を確認しましょう。

○ストーブ等は定期的に点検を行い、調子の悪い時は専門の業者に見てもらいましょう。

○子どもの火遊びに注意しましょう。

○万一に備え避難する通路や場所などの除雪をしましょう。

○家族全員で火の取扱いや火災の恐ろしさを話し合いましょう。

■事業所では

○人の出入りの多くなる事業所では繁忙のため、火の取扱いがおろそかになりがちです。巡視体制を強化するとともに、避難誘導が円滑に行われるよう、従業員一人ひとりの責任分担を明確にしましょう。

○年末年始が休日になる事業所では、定期的に巡視を行うとともに、万一に備え除雪をしましょう。

余市警察署だより



1月10日は、 「110番の日」

緊急通報は110番、相談電話は「#9110」

○110番は、事件・事故などが発生した際の緊急通報用の電話です。

慌てず、落ちついて質問に答えてください。

○警察官が早く到着できるように、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。

○急を要しない困り事や相談は、警察相談電話「#9110」または最寄りの警察署、交番へお問い合わせください。

ストップ・ザ・交通事故

めざせ

安全で安心な北海道
余裕を持った運転を

目的の地までの天気や道路の状況を事前に把握、時間に余裕を持って出発しましょう。

■スピードダウンと慎重な運転を

スピードダウンと道路状況にあわせた慎重な運転

をしましょう。

「急」のつく運転操作は危険

急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作は大変危険です。

■交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「歩行者の横断」などを予測、徐行して安全確認を徹底しましょう。

■悪天候に注意

吹きだまりによる立ち往生等の危険が伴います。不要な外出は控えましょう。

違法・迷惑駐車防止

やめましょう

みんなが困る 迷惑駐車
違法・迷惑駐車は、次のような危険や障害の原因となります

○道路を狭くして通行の妨害になります。

○交差点付近での事故の原因となります。

○緊急車両の活動を妨げます。

○歩行者事故などの原因になります。

○除排雪作業の障害となります。

健康支援センターだより

明けましておめでとうございます。寒い日が続いていますので、風邪には注意してお過ごしください。

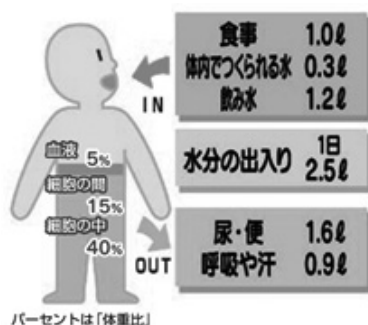
新型コロナウイルス ワクチン3回目接種

追加接種（3回目）はワクチン接種が2回済んでいる18歳以上の方を対象に2回目の接種から、原則8ヶ月以上過ぎてから行います。接種時期に合わせて追加接種用の接種券を個別に送付します。手元に接種券が届くまでお待ちください。追加接種の予定時期を過ぎても接種券が届かない場合は、保健福祉課保健福祉係（TEL 3512050）へお問い合わせください。追加接種は、引き続き北後志5町村（余市町、仁木町、積丹町、古平町、赤井川村）の医療機関での接種が可能となります。接種日程などは接種券の送付にあわせてお知らせします。

冬にも水分補給をしましょう

夏は熱中症予防などで意識して水分補給をしています。冬は喉の渇きを自覚しにくくなります。人間の体の約60%は水分です。毎日食べ物や飲み物などから2〜2.5Lの水分を摂取

し、尿や便、汗などと同じくらいの量の水分を体から排出しています。水分補給は冬でも重要です。喉の渇きを感じる前に、こまめに水分補給をしましょう。



風邪対策に！

風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは乾燥した状態で活発に活動します。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。

脳卒中、心筋梗塞予防に！

冬場には脳卒中や心筋梗塞の発症が増えます。これは寒くなると血圧が上昇すること、一因ではあります。水分補給も関わっています。水分摂取量が少ないと、血液の粘度が上がり所謂「ドロドロ」の状態になります。

お酒を飲んだら！

年末年始の時期は飲酒の機会が多くなります。お酒を飲むと喉が渇くことは多くの方が経験されていると思いますが、アルコールには利尿作用があるため、飲酒が過ぎると体は脱水状態となります。お酒を飲んだら意識的に水分を補給して、脱水状態を防ぎましょう。

食生活改善推進委員会からのお知らせ

11月17日に1回目、12月15日に2回目のお弁当をお届けしました。

献立には蕪や赤大根、かぼちゃなど冬が旬の野菜を多く取り入れています。冬野菜の特徴は寒さで凍ることがないよう、細胞に糖を蓄積するため糖度の高い野菜が多いことです。また、ビタミンやカロテンなどの栄養価を多く含む野菜は、免疫力を高めて、風邪の予防にも効果があるといわれています。煮物や鍋など、体

が芯から温まる料理に使い、冬を乗り切りましょう。皆さんの元気なご様子と「ありがとう」を励みに、これからもからだにいい食材を使っておいしいお弁当をお届けします。



12月15日にお配りしたお弁当の写真です。

例年実施しておりました親と子の食育教室並びに男の料理教室は感染症予防の観点から中止いたしました。楽しみにされていた方には申し訳ありません。

【赤井川村第2期健康づくり計画】



みんなの目標

シリーズで赤井川村第2期健康づくり計画の目標に連動する保健活動をご紹介します。

《家族での役割》は、男だから、女だからにとらわれず、一人暮らしでも三世代家族でもご自身の生活が豊になるよう、何かできることがあります。ご飯を食べてくれるだけでも、力になります。ペットも家族の一員で、そのお世話も大切な役割です。

＜大目標＞

1. 体が元気
2. 毎日の生活を心から楽しむ
3. ところが元気
4. ふれあいを大切にする
5. 家族での役割をはたす
6. 社会資源を活用する
7. 地域での役割をはたす
8. いつまでもおいしく食べられる

＜小目標＞

1. 家族で会話をしている
2. 食事作りの時間をおしめず、確保する回数を増やす
3. 家庭内での役割分担をしている
4. 親が子を見本となるよう規則正しい生活をしている



☆《家族での役割をはたす》に連動する、赤井川村保健福祉推進会議構成団体の保健活動☆

こっこクラブ
・親子での行事

保育所父母
・運動会
・生活発表会

新おたる農業協同組合赤井川女性部
・味噌づくり
・乳製品を使った料理講習

食生活改善推進委員会

- ・一人暮らし、お年寄り世帯の給食サービス
- ・親と子の食育教室
- ・男の料理教室
- ・悠楽学園大学との試食会並びに交流会
- ・ふれあい健康まつり
- ・ひな祭り交流会

保健福祉課

成人・高齢者

・健診結果説明会・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防・障がい者支援・家庭訪問

母子

・妊娠届時妊婦相談・妊婦訪問・新生児訪問・乳児健診・乳児相談
・1歳半、3歳児健診・ひよこの会・虐待予防・家庭訪問・障がい児支援

他

・地区組織活動

介護保険制度について

40歳になられた方へ

介護を社会で支え合い、老後の不安を軽減しましょう

介護保険制度は、高齢化や核家族化の進行、介護離職問題などを背景に、介護を社会全体で支えることを目的として、2000年に創設されました。

現在では、約687万人の方が要介護（要支援）認定を受け、介護を必要とする高齢者を支える制度として定着しています。

介護保険への加入は40歳以上とし、40歳から64歳の方については、ご自身も老化に起因する疾病により介護が必要となる可能性が高くなることに加えて、ご自身の親が高齢となり介護が必要となる状態になる可能性が高まる時期であり、また老後の不安の原因である介護を社会全体で支えるためにも、保険料をご負担いただいています。

詳しくは、担当までお問い合わせください。

■お問い合わせ

○役場介護保険課介護保険係

TEL 3512050

○地域包括支援センター
TEL 4815205

お知らせ 伝言板

原油価格高騰 対策支援助成金

赤井川村では、原油価格高騰に伴う光熱費の価格高騰に対する経済的支援を目的として、一世帯2万円の助成金を交付します。

■要件1

令和3年12月1日現在において、赤井川村の住民基本台帳に登録されている方の世帯

■要件2

令和2年の年収が960万円を超える方がいない世帯

■追加要件

令和2年の総所得金額が765万円を超える方がいない世帯

既に世帯主の方宛てに案内を郵送していますが、申請期間は令和4年1月31日(月)までとなっておりますので、助成金の交付を希望される方は、お早めに申請してください。

■お問い合わせ

保健福祉課保健福祉係
Tel 35-2050

安達正樹氏に 北海道社会貢献賞

平成11年5月から令和元年5月までの5期20年の永きにわたり議会議員として、また平成23年5月からは副議長として、赤井川村の振興発展に貢献された安達正樹さんに、北海道知事より社会貢献賞が授与されました。

この度の受賞、誠にありがとうございます。



大西敏典氏に 町村監査功労賞

この度、大西敏典氏に監査委員として7年以上に渡り、地方自治の振興発展に貢献されたことに対して、全国町村監査委員協議会より町村監査功労賞が贈られました。

ご功績を讃え、この度の名誉をお慶び申し上げます。今後も、赤井川村の振興のためにお力をお貸しいただきたく存じます。



過疎地域における 固定資産税の免除

「赤井川村過疎地域持続的発展計画」に規定する産業振興促進地域(村内全域)において製造業、旅館業、情報サービス業または農林水産物等販売業の用に供する設備を取得等した場合は、申請に基づき固定資産税(土地・家屋・償却資産)を3年間、課税免除を受けることができます。申請期限は、事業の用に供した日の翌年の1月31日までとなっています。

取得価格等の要項についての詳細は、次の担当までお問い合わせください。

■お問い合わせ

総務課税務係
Tel 34-6211

運転免許更新時講習

新型コロナウイルス感染防止対策のため、受講制限を行っていただきますので受講を希望される方は、事前に予約を行ってください。

■優良運転者講習(30分)

1月12日(水) 午後3時30分
1月27日(木) 午後3時30分

■一般運転者講習(1時間)

1月19日(水) 午後1時
1月27日(木) 午後1時

■違反運転者講習(2時間)

1月12日(水) 午後1時
1月27日(木) 午後1時

■初回講習(2時間)

1月19日(水) 午後2時30分
※会場は全て余市町中央公民館です。

※該当する講習をご確認の上、警察署等で更新手続き後、受講願います。

※「優良運転者」は過去5年間違反なし、「一般運転者」は過去5年間で軽微な違反が1回のみ、「初回講習」は運転免許を取得して5年未満、それ以外は「違反運転者等」講習を受講することとなります。

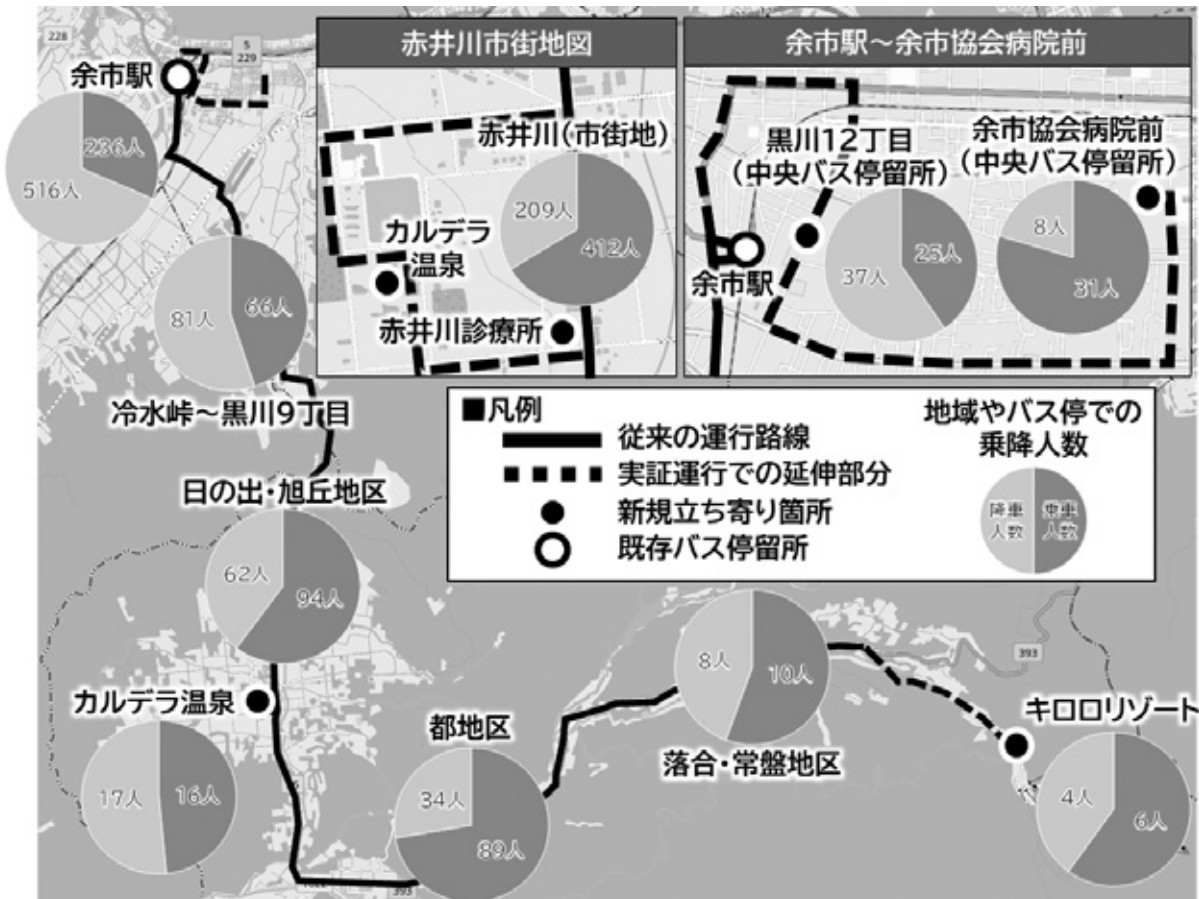
赤井川村地域公共交通実証運行バスの運行結果概要のお知らせ

10月1日～11月30日の2カ月間、北海道中央バス「赤井川線」、日曜、祝日に運行している赤井川村公共交通バスを運休して実施しました実証運行の結果概要をお知らせいたします。

■結果の特徴

- 10月の利用者数は579人
1日あたりの平均利用者数は18.7人
- 11月の利用者数は569人
1日あたりの平均利用者数は19.0人
- 10月、11月往路（赤井川村→余市町）利用者737人、復路（余市町→赤井川村）利用者411人であり、往路の利用者は復路に比べて約1.79倍が多かった。
- 1便（午前6時キロロ発 午前6時45分余市到着）の利用が多く、通学、通院による平日の利用が多かった。
- 4便（午前10時40分余市協会病院発 赤井川行き）5便（午前11時40分道の駅発 余市行き）の空車が多かった。
- 赤井川村民だけでなく、余市町民の利用も一定数みられた。

○停留所別利用状況



今後、本実証運行の結果や赤井川村地域公共交通意見交換会の意見を参考に、令和4年4月からの新たな公共交通の運行ルートやダイヤを検討していきます。

村道等の除雪計画

先月号の広報で冬の除雪計画をお知らせしておりましたが、詳細が下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします

「国道」の除雪計画

- 1. 除雪計画**
令和3年11月1日 ～ 令和4年3月31日
- 2. 除雪路線及び区間**
国道393号小樽市国道5号を起点に倶知安町国道276号まで
- 3. 除雪延長**
58.4km（うち赤井川村管内 道路部26.6km 歩道部2.2km）
- 4. 受託業者**
◇小樽市国道5号起点から赤井川村字轟（樺立トンネル）まで
宮本土建工業（株）
◇赤井川村字轟（樺立トンネル）から倶知安町国道276号まで
菊地建設鉦業（株）
- 5. 除雪に関する問い合わせ先**
小樽開発建設部 小樽道路事務所 第2工務課
TEL 0134-22-9116
小樽開発建設部 倶知安開発事務所 道路工務課
TEL 0134-22-0133



「道道」の除雪計画

- 1. 除雪計画**
令和3年11月1日 ～ 令和4年3月31日
- 2. 除雪路線及び区間**
道道余市赤井川線 余市町国道5号を起点に赤井川村字都、明治入口まで
道道仁木赤井川線 仁木町国道5号を起点に赤井川村字都、都郵便局まで
- 3. 除雪延長**
道道余市赤井川線 13.2km
（うち赤井川村管内 道路部 9.3km 歩道部 11.1km）
道道仁木赤井川線 13.3km
（うち赤井川村管内 道路部 1.9km 歩道部 1.9km）
- 4. 受託業者**
◇余市赤井川線
小樽道路サポート協同組合（主に宮本土建工業（株））
◇仁木赤井川線
北後志サポート協同組合（主に中村建設（株））
- 5. 除雪に関する問い合わせ先**
小樽建設管理部事業室 事業課 施設保全室
TEL 0134-54-7670
小樽建設管理部 余市出張所 施設保全室
TEL 0135-23-2196



「村道」の除雪計画

- 1. 除雪計画**
令和3年11月1日 ～ 令和4年3月31日
- 2. 除雪路線及び区間**
村道59路線を実施
例年と変更があります、変更箇所は先月号をご覧ください。
- 3. 除雪延長**
道路部 54.9km 歩道部 9.5km
- 4. 受託業者**
◇木村・八洲・中山・助っ人 特定業務共同企業体
代表者 （株）木村林業
- 5. 除雪に関する問い合わせ先**
赤井川村役場 建設課 土木係
TEL 0135-34-6211



介護の資格取得費を助成します！

介護職員初任者研修課程受講料の費用を助成します。研修に係る受講料（テキスト代、実習に要した費用等を含む）の8割・8万円を上限に助成します。（印紙代金は補助対象外となります。）

■目的

住民の介護資格取得による地域介護力の向上、村内及び近隣市町村内事業所に置ける介護人材の確保並びに介護人材の資質の向上及び職場への定着促進を目的としています。

■期間

令和3年4月30日～

令和4年3月31日

※令和3年度新型コロナウイルス感染症対応事業の1つとして実施します。

■対象者（左記を満たす方）

○赤井川村の住民の方

○期間内に介護職員初任者研修を修了した方

○国等から同種の補助金等の交付を受けていない方

■申し込み方法

申請書に研修の修了を証明する書類及び領収書を添えて健康支援センター窓口へ提出してください。（申込書は村のホームページに）

ージに掲載しているほか、窓口でも交付しています。）

■お問い合わせ・お申し込み
介護保険課介護保険係

Tel 3512050

年金だより

年金手帳のご確認を

年金被保険者には、年金手帳が交付されます。年金手帳には、基礎年金番号等が記載されており、将来各種年金を請求するときに必要です。

年金手帳をもう一度ご確認の上、もし紛失された場合は役場経由で年金事務所に再発行申請を提出してください。

また、何らかの手違い等により、一人で複数の年金手帳を所持してしまうケースもあります。複数の年金手帳を所持していますと、年金を受取る際に時間がかかるなどの不都合が生じますので、複数の年金手帳を所持している場合も役場経由で年金事務所へ年金手帳重複取消届を提出し、1冊にまとめていただくようお願いいたします。

農業委員会だより

農業委員会総会第18回

開催月日／11月29日

◆会議案件

◆賃貸借契約等の解除について

◆農用地利用集積計画の決定について

◆農地法第5条の規定による許可申請について

お知らせ

◆農地情報の提供のお願い
皆様から提供いただいた情報によって、農地利用希望者（新たに農業を始めた方）などについて、農業経営の規模拡大を考えている方、定年を迎え田舎暮らしを希望する方等へ情報提供を行うことにより、農地の流動化を図っていきます。村内に空き農地をお持ちの方は、赤井川村農業委員会事務局までご相談ください。

また、農地の賃借、売買及び転用は、農業委員会の許可が必要となります。賃借等をされる方は、農業委員会事務局までご相談ください。

◆受付件数 売買希望 7件
買受希望 2件
（令和3年11月14日現在）

◆利用権の設定（賃借権・使用貸借権）の見直し更新をしましょう。
基盤強化促進法によって設定した利用権及び農地法第3条による使用貸借権は、契約期間が終わると自然解約となるため、新たに契約を結ぶ必要があります。（農地法第3条による賃借権の契約はお互いが合意解約しない限り期間が終わっても自動で契約更新されます。）

現在、農地を借りている農家の皆様は自分の契約期間がいつまでであるかを確認し、契約が切れていた場合は冬の間に契約更新を忘れないに行いましょう。
また、1月から3ヵ月以内に契約が切れそうな方についても書類の準備期間が必要ですので、早めに農業委員会へ契約更新の旨をご相談ください。

◆農地台帳の見直しを行います。
令和4年1月の農業委員会総会にて、農地台帳の見直しを行います。

見直しを行った際に、耕作が認められない方などには通知を行い、意見を求め

ますので、意見がある場合には農業委員会事務局（横井、柏谷）までご連絡ください。

通行規制区間への侵入の危険性

冬に吹雪で見通しのきかない道路では通行止めの規制が実施されます。
通行止め区間へ脇道から侵入すると、吹きだまりに衝突したり、車両がスタックし孤立するなど、命に関わる重大な事故に繋がる恐れがあります。

大変危険ですので、指定された回路のご利用をお願いいたします。

なお、通行規制の状況はホームページで公表しています。

◆通行規制情報（北海道地区道路情報ページ）
<https://info-rodohb.hk.dmit.go.jp/RoadInfo/index.htm>

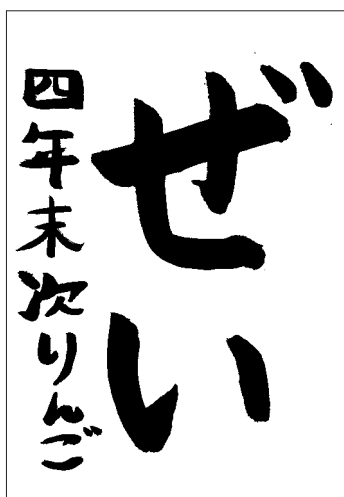
■お問い合わせ

後志総合振興局小樽建設管理部維持管理課
Tel 0134-2512444

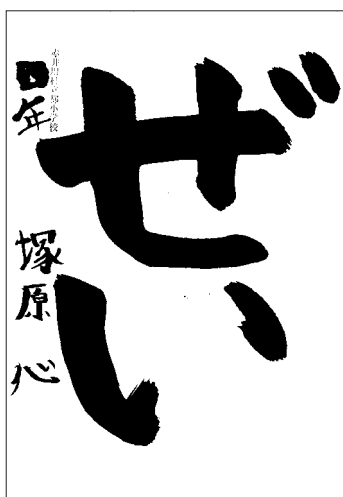
令和3年度

「税に関する書道」

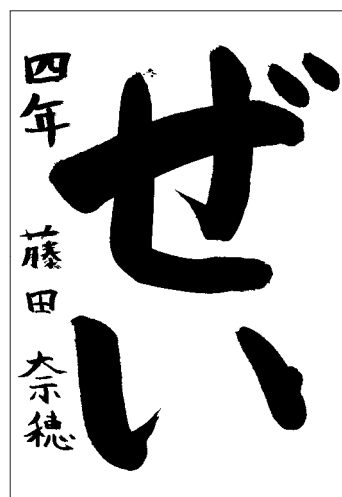
村の文化祭にて展示された「税に関する書道」の入賞作品を紹介します。
また、北後志租税教育推進懇話会による「税を考える週間」の行事の一つとして、「小学生の税に関する書道展」が開催され、余市税務署長賞を受賞いたしました。おめでとうございます！
方法人会会長賞を赤小6年稲垣紗良さんが受賞いたしました。おめでとうございます！



【小学3年～4年の部】
教育長賞
末次 梨胡（赤小4年）



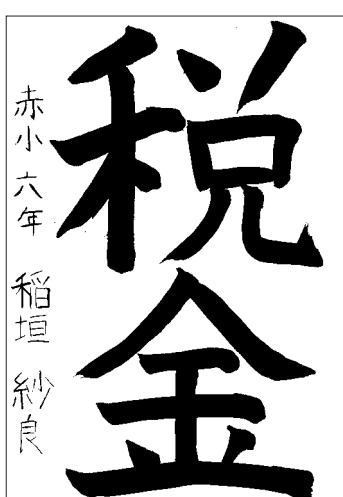
【小学3年～4年の部】
議長賞
塚原 心（都小4年）



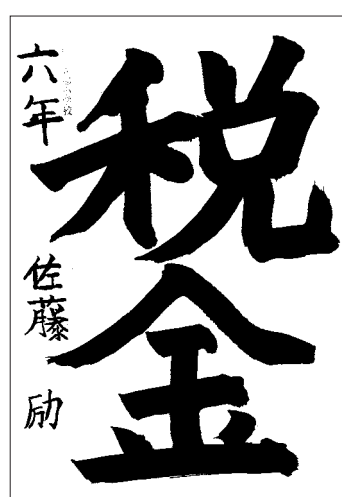
【小学3年～4年の部】
村長賞
藤田 奈穂（赤小4年）



【小学5年～6年の部】
教育長賞
能登 ふく（赤小6年）



【小学5年～6年の部】
議長賞
稲垣 紗良（赤小6年）



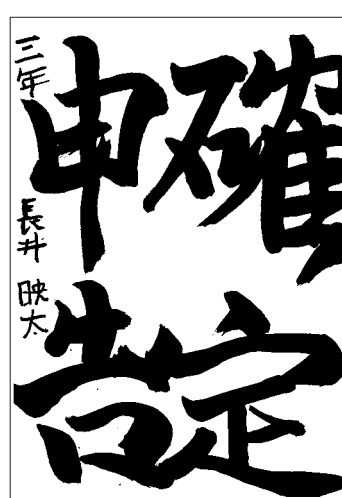
【小学5年～6年の部】
村長賞
佐藤 励（都小6年）



【中学の部】
教育長賞
藤田 雪穂（赤中1年）



【中学の部】
議長賞
長谷川 岳流（赤中3年）



【中学の部】
村長賞
長井 映太（赤中3年）

赤井川村役場のお仕事を紹介します！

3回目の今回は、産業課と建設課の紹介です。産業課には、農政係、土地改良係、産業係があります。また、建設課は土木係、建築係、水道係があります。

産業課は農業や商工観光業を、建設課は道路、河川、上下水道、公営住宅を管轄しておりますので、住民の皆さまにも馴染みのある課でもあると思います。各係の主な業務内容は次のとおりです。

■産業課

【農政係】

- 農業・畜産の振興に関すること
- 農家生活改善に関すること
- 家畜衛生に関すること
- 農業振興団体に関すること
- 農業振興センターに関すること

- 令和2年4月より左記業務の担当になりました。
- 有害鳥獣に関すること

【土地改良係】

- かんがい施設、農業水利に関すること
- 落合ダムに関すること
- 土地改良、耕土改良に関すること

【産業係】

- 林業、商業、工業、鉱業の振興に関すること
- 地籍に関すること
- 小公園の管理運営に関すること
- 林野火災予防、治山に関すること
- 観光資源の開発、宣伝に関すること
- 農業委員会との連絡に関すること（産業係の職員は農業委員会事務局の職員を兼任しています。）

- 令和2年4月より左記業務の担当になりました。
- 道の駅あかいがわに関すること

■建設課

【土木係】

- 村道、橋、河川の維持管理に関すること
- 村道の除雪に関すること
- 河川、村道の占有に関すること
- 土地区画整理法の施行に関すること

【建築係】

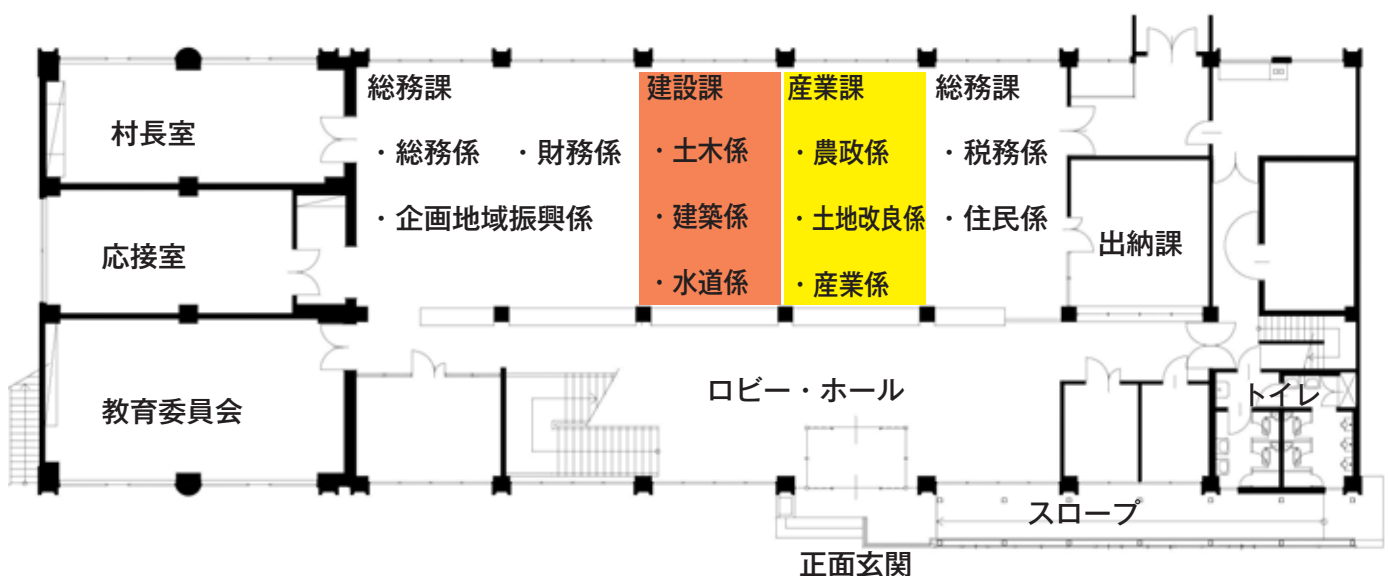
- 村営・村有住宅に関すること
- 建築基準法の施行に関すること
- 村有建物の建築工事に関すること

- 移住・定住支援事業に関すること

【水道係】

- 水道の維持管理に関すること
- 下水道の維持管理に関すること
- 水道・下水道工事の設計、施行に関すること
- 水道、下水道施設に関すること

下記の庁舎配席図は来庁される際の参考にしてください。
もし、担当課・係が分からなくても職員にお声がけいただければ、ご案内します。迷った際にはお気軽にお声がけください。



各係の庁舎での配置は上記のとおりです。来庁された際に参考にしてください。
産業課は役場の玄関を入ると正面に配置されています。その向かって左手側に建設課が配置されています。

訓練生の追加募集

北海道障害者職業能力開発校では、訓練生の追加募集をします。

■対象者

障がいをお持ちの求職者

■訓練科目

建築デザイン科、CAD
機械科、総合ビジネス科、
プログラム設計科、総合
実務科

■募集人員

各科若干名

■願書受付期間

1月20日(木)まで

■選考試験日

2月7日(月)

■選考場所

北海道障害者職業能力開発校
砂川市焼山60番地

■試験科目

算数、国語、面接

■お問い合わせ

○最寄りのハローワーク

○北海道障害者職業能力開発校

Tel 0125-5212774

国有林モニター募集

北海道森林管理局では国民の皆さまに国有林の役割や現状等をご理解いただくとともに、国民の幅広い意見を把握し、国有林野の管理経営に役立てることを目

的に、令和4・5年度「国有林モニター」を次のとおり募集します。

■募集人数

48人

■依頼内容

○国有林や森林・林業に関するアンケート調査への回答

○モニター会議への出席

○現地見学会への参加

■応募資格

北海道にお住まいで、国有林に関心のある18歳以上(令和4年4月1日時点)の方。

■応募期限

2月18日(金)(必着)

■応募方法

氏名(ふりがな)、性別、住所、郵便番号、年齢(令和4年4月1日現在)、職業、電話番号、メールアドレス(お持ちの方のみ)、国有林モニターを知ったきっかけ、応募理由(100字程度)を記入の上、郵送、FAX、メールいずれかの方法で、応募先までご応募ください。

その他の詳細につきましては、左記までお問い合わせください。

■お問い合わせ・応募先

林野庁北海道森林管理局
企画課国有林モニター担当

Tel 011-622-5228

自衛官募集

自衛官候補生(男子・女子)・予備自衛官補(一般・技能)を募集します。

自衛隊札幌地方協力本部小樽事務所では、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして説明会を随時行っております。

※自衛官候補生及び一般曹候補生の採用年齢が18歳以上33歳未満に改正されました。

■お問い合わせ

自衛隊札幌地方協力本部
小樽地域事務所
小樽市稲穂2-22-4
樽石ビル2F
Tel 0134-2215521

1月の気象情報

平年と同様にくもりや雪の日が多いでしょう。

◇気温ー高40%・平30%・低30%

◇降水量ー高30%・平40%・低30%

■モニタリングポストによる測定データ

年月日	空間放射線量率 (単位: μGy)	天候
2021.11.16	0.055	くもり
11.19	0.056	晴れ
11.23	0.070	雪
11.26	0.061	くもり
11.30	0.047	くもり
12.3	0.056	くもり
12.7	0.053	くもり
12.10	0.054	晴れ
12.14	0.052	くもり

※空間放射線量は平常レベルで推移しています。

赤井川村の空間放射線量の状況

村では本村にお住まいの方、また来村される方が安心して過ごすことができるよう放射線量率情報を公開しています。

お知らせする数値は北海道により整備された環境放射線モニタリングポスト及びテレメータシステムを利用し収集されたもので、測定方法等は左記のとおりです。

■測定方法

◇測定機器/モニタリングポスト(北海道設置)

◇測定場所/北後志消防組合赤井川支署

◇測定時間/10分間隔で常時測定

◇公表

広報/毎週火・金曜日の午前9時現在データ(前月14日までの結果)を掲載

※即時データを村で抽出して掲載することから、北海道が公式に発表するデータと異なる場合がありますのでご了承ください。

HP/北海道原子力環境センターHPで即時データが確認できます。
(<http://www.genshi.pref.hokkaido.jp/>)

※HPで公表されている内容は役場庁舎ロビーに設置されたモニターでもご覧頂くことができます。
◇測定単位/ μGy (マイクログレイ)

◆◆赤井川村SOSネットワーク◆◆

高齢者がいなくなったことに気づいたら
すぐに余市警察署へご連絡ください

「高齢者の行方不明が発生した」と伝えてください。

Tel 0135-22-0110

住民のまど

〔11月15日～12月14日届出〕
この期間に戸籍等の届出
はありませんでした。

村長のうごき

- 〔11月15日～12月14日〕
- 15日◇全国過疎地域連盟第52回定期総会／東京都
- 16日◇安全・安心な道づくりを求める全国大会／東京都
- 17日◇全国町村長大会（We b参加）／字赤井川
- ◇寒地土木研究所研究員来庁／字赤井川
- ◇区会懇談会（落合・常盤地区）／字落合
- 18日◇時事通信社取材／字赤井川
- ◇区会懇談会（二町内地区）／字赤井川
- 19日◇北後志衛生施設組合副組合長来庁／字赤井川
- ◇区会懇談会（一町内地区）／字赤井川
- 20日◇鈴木直道政経セミナー／札幌市
- 22日◇第3回赤井川村議会臨時会／字赤井川
- 24日◇余市防備隊長離任

- 挨拶／字赤井川
- ◇区会懇談会（一池田・二池田地区）／字赤井川
- 26日◇北海道「命のみち」づくりを求める東京大会・要望活動／東京都
- 29日◇第7回議会協議会
- ◇第4回赤井川村議会臨時会
- 30日◇白樺会理事長来庁／字赤井川
- ◇第2回再生可能エネルギー推進委員会／字赤井川
- ◇区会懇談会（共栄・富田・旭丘地区）／字赤井川
- 〔12月〕
- 1日◇地域おこし協力隊員辞令交付／字赤井川
- 2日◇赤井川中学校総合学習発表会／字赤井川
- ◇北海道電力社長来庁／字赤井川
- 3日◇NHK札幌放送局企画部長来庁／字赤井川
- 7日◇余市防備隊長着任挨拶／字赤井川
- 9日◇全国森林レクリエーション協会研修／静岡県
- 13日◇大西敏典氏全国町村監査功労者表彰伝達式／字赤井川
- ◇瀬野尾斉氏叙勲伝達

むらの日誌(11月)

- 式／字赤井川
- ◇安達正樹氏北海道社会貢献受賞報告来庁／字赤井川
- 14日◇小樽開発建設部長との意見交換会（We b参加）／字赤井川
- 9日◇水道下水道検定
- ◇土木業務検定
- 10日◇決算特別委員会
- 11日◇赤井川中学校総合学習
- 12日◇見積合わせ
- ◇道営土地改良事業に係る土地改良専門技術者調査
- 15日◇除雪説明会
- 16日◇議会運営委員会及び議会活性化特別委員会
- ◇学校予算要望ヒアリング（赤中）
- 17日◇学校予算要望ヒアリング（都小）
- 18日◇学校予算要望ヒアリング（赤中）
- 22日◇第3回赤井川村議会臨時会
- ◇予算特別委員会
- 24日◇業務検定
- ◇学校予算要望ヒアリング（赤小）
- 25日◇住民税・国保税研究会
- 26日◇赤井川中学校総合学習
- ◇教頭会議

無料法律相談所の開設

日時

1月19日（水）

午後1時から午後4時

場所

余市町中央公民館（余市町大町4丁目143番地）
Tel 23-5001

※ご利用される方は、事前に必ず余市町役場へご連絡願います。
（Tel 21-2111）

人口と世帯

	日本人	外国人	総人口	前月比
人口	1,039	63	1,102	+4
男	516	40	556	+1
女	523	23	546	+3
世帯数	544	56	606	+8

※令和3年11月30日現在

今月の表紙

昔の若人おしゃべりサロンのクリスマス会からの1枚です。

クリスマス会ということで地域包括支援センターの職員の皆さんが主催のビンゴゲームが行われ、会場には参加者の皆さんの楽しそうな笑い声が響いていました。

おしゃべりサロンは毎月開催されていますので、興味のある方は是非！



広報あかがわから選ぶ

赤井川村2021年10大ニュース



第1位 山中新汰さんが第70回全国高等学校スキー大会男子大回転で優勝／3月号掲載

過去にも広報あかがわの紙面を賑わせてくれた山中さん。2月に長野県で行われた全国大会で素晴らしい成績を収めました。



第2位 赤井川村地域公共交通実証バス運行開始／10月号掲載

10月から2ヶ月間、キロロ～余市町間を走った実証運行バス。この広報をご覧の方の中にもご利用になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

運行結果の概要については、本号のお知らせ伝言板に掲載しています。



第3位 新型コロナウイルスワクチン接種開始／6月号掲載

赤井川診療所では5月17日から65歳以上の方の接種が始まりました。

現在、3回目接種の準備を進めているところです。



第4位 ポケモンマンホール「ポケふた」設置式／12月号掲載

道の駅に後志管内初・村に設置されているマンホールです。実は、マンホールのふたの近くに…続きが気になる方は道の駅へ！



第5位 池田葉月さんがJOCジュニアオリンピックカップ2021兼全日本中学生選抜スキー大会で2種目優勝／4月号掲載

赤中卒業生の池田さんが素晴らしい成績を収め、結果報告に来庁してくださいました。

第6位 赤井川村総合計画・総合戦略策定委員会の開催／4月号掲載

第7位 赤井川村地域公共交通活性化協議会開催／7月・10月号掲載

第8位 林秀明氏が瑞宝単光章受章／7月号

第9位 木村岩雄氏全国市町村教育委員連合会功労者表彰受賞／10月号

第10位 赤井川村エネルギービジョンの策定／7月号

※「赤井川村写真館」へ掲載する写真を募集しています！

あなたが撮影した村内の風景や静物、人物などの写真を広報あかがわに掲載してみませんか？掲載したいまたはしても良いという方がおられましたら、役場総務課企画地域振興係までご連絡ください。なお、写真はプリント、データどちらでもかまいませんが、2300×1550PIXEL以上でお願いします。応募のあった中から内部で審査を行い掲載していきます。掲載希望がない場合は広報担当及び役場職員が撮影した写真やその他情報を掲載していきます。あなたもこの機会に赤井川村を見つめ直してみませんか？

広報あかがわでは、今後も村民の皆さんの身近な話題を掲載していきます。皆さんが予定している行事や参加しているサークル・ボランティア活動の話題などありましたら、総務課企画地域振興係までお知らせください。紙面の都合により掲載できない場合もありますが、できるだけ掲載するよう努力してまいります。また広報や村政に対するご意見・ご感想も募集していますので、メール又は郵送でお寄せください。

広報あかがわに掲載された写真は被写体となった方や関係される方々へ提供することができます。ご希望の方はお気軽にご相談ください。

編集後記

■明けておめでとうございます。本年も、広報あかがわをよろしく願いいたします。

今月の裏表紙は、毎年1月号恒例の10大ニュースです。今回は面白い話題も多くランクインしていると思います。新しい生活様式も生活にかなり溶け込み、慣れてきたように思いますが、やっぱりコロナ前が恋しい今日この頃です。(K)

【発行情報】 広報あかがわ2022年1月号 (No.680)

■編集・発行／赤井川村総務課企画地域振興係

〒046-0592 余市郡赤井川村字赤井川74番地2

TEL 0135-34-6211 FAX 0135-34-6644

URL <https://www.akaigawa.com/> E-Mail info@akaigawa.com

■印刷／(株)総北海 旭川市工業団地2条1丁目1-23



やすらぎと感動の赤井川
人が集まる美しいカルデラの里



広報あかがわは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO₂削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。



the most beautiful
villages
in japan